

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2021 助成の概要と推薦理由

助成番号 21-1-1

プロジェクト名 天井の先の宇宙—つなぐいのち・つながる未来

団体名 一般社団法人星つむぎの村

代表者名 高橋 真理子、跡部 浩一

所在地 山梨県

助成額 194万円

助成期間 2021年4月1日～2022年3月31日

設立年 2016年

URL <https://hoshitsumugi.org/>



コロナ禍において、在宅療養している子どもたちは感染予防で通学や通所をはじめとして、日常的な外出さえ自由にできない状態が続いている。またきょうだいも通常以上に遊びが制限され、多くのストレスを抱えているが、その現状は社会からは見えにくい。この状況下で、教育や文化、芸術に触れる機会が失われていることに子どもの情緒面に対する悪影響が医療者や研究者からも不安視されている。

この団体は、天文学や音楽の専門家などが集まり、出張プラネタリウムや星空観望会、星空コンサートなどの機会を通じて、星空に親しむことができるよう、様々な場所に「星や宇宙を届ける」活動に取り組んでいる。

今回の助成では、在宅療養している子どもとその家族に「フライングプラネタリウム」※を届け、日常生活では味わうことができない機会と経験を提供する。また入院している子どもと在宅で過ごす子どもと一緒に参加できるオンライン上の「星の寺子屋」を月に2回開催し、様々な遊びや学びを経験するとともにお互いが交流できる場となるよう実施していく。また「星の寺子屋」には高校生や大学生のボランティアの参加も促し、ボランティアで多様なプログラムが展開できるよう体制を整えていく。

本助成を通じて、在宅で療養している子どもとその家族に「フライングプラネタリウム」を届けることが継続した活動となるよう仕組みや体制を整えて欲しい。また「星の寺子屋」は病院と在宅の環境を問わず誰もが参加することができる新たな融合支援として確立されることを期待する。

※フライングプラネタリウムは団体の登録商標。インターネットを通じたライブ配信や事前に録画した動画を再生してプラネタリウムを体験することができ、離れた場所にいる人とも同じ空を共有することができる。